

◇各教科等の授業改善に向けた具体的な方策

【数学】

<p>■生徒の状況</p>	<p>(1) 授業のめあてを理解して授業を受け、授業の終わりにめあてが達成できたか、何を学ぶことができたかを確認できる生徒が多い。</p> <p>(2) 計算などの技能の差はあるが、授業に落ち着いて取り組んでいる。</p> <p>(3) 応用問題や文章問題という言葉で、苦手意識をもち、自分の力で解いてみようという気持ちをもてなくなる生徒が多い。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>(1) 基礎的な計算力、問題を読み取る力、グラフを書く力、作図する力を定着させるため、小テストや問題演習の時間を取るとともに、家庭学習を促し、次のステップアップへの意欲をもたせる。</p> <p>(2) ICTの活用を含め、自らの考えを表現する場を多くし読み解く力を身に付けさせる。</p>
<p>■授業改善に向けた具体的な方策</p>	<p>1 基礎学力の定着</p> <p>(1) 毎時間の学習のめあてや内容を明示し、意欲関心を高め、目的意識を常にもたせる。</p> <p>(2) 夏休みの課題や学習教室を通して、基礎的な技能の定着を図る。</p> <p>(3) 家庭学習につながる課題やミライシードの学習ドリルの活用などにより、学習内容の復習・家庭学習の定着を図る。</p> <p>2 1を支える家庭学習の推進</p> <p>(1) 定期的に小テストを実施する。</p> <p>(2) 学習教室の活用・問題集やクロームブックの家庭での活用</p> <p>3 授業における思考力・判断力・表現力の育成</p> <p>(1) 一斉授業と協同学習をバランス良く行い、自ら課題に取り組む主体的な姿勢と自分の考えを表現する力を養う。</p> <p>(2) 授業で多くの問題に取り組ませ、計算などの技能を養う。</p> <p>(3) 問題解決型・探究型の授業を行い、生徒の考えを発表する機会を増やし、思考力・判断力・表現力を養う。</p> <p>4 3を自ら伸ばしていくための主体性の育成</p> <p>(1) 単元の目標、毎時間の授業のめあてを明示し、振り返りを行う。</p> <p>(2) 家庭学習や小テスト、課題等への取り組みについて積極的に評価する。</p> <p>(3) 問題解決型・探究型授業の授業で学習内容や自分の考えを表現する場を設定し、他とのコミュニケーションの中で自己の力を伸ばしていく姿勢を養う。</p> <p>5 ICT機器を活用した授業実践例</p> <p>(1) デジタル教科書を活用し、素早い課題の把握、より効果的な課題の提示を行う。</p> <p>(2) 生徒の思考力・判断力・表現力・主体性の育成を図るために、電子黒板・クロームブック等を用いて、自分の考えや解答等を発表できるように活用していく。</p> <p>6 小中一貫</p> <p>(1) 研修会等で情報交換することで、共通の理解を図り、小学校での算数の取り組みを中学校での授業内容、授業改善に活かす。</p> <p>(2) 算数・数学科の9年間の見通しをもった指導計画を検討する。</p>